

2022年度

時間と場所に縛られないマイペース受講

本年度の卒後教育講座と漢方講座をインターネット配信します。収録後、順次コンテンツを追加していきます。2021年度の卒後教育講座と漢方講座も再配信します。 配信期間中、何時でも何度でも視聴でき、効率的に学習していただけます。

開催日程

2022年6月1日(水) ~ 2023年2月28日(火)

受講料

15,000円(視聴回数制限なし、PDF資料ダウンロード可)

申込受付

2022年3月1日(火) ~ 2023年2月23日(木)

申込方法

ホームページよりお申込みください。 https://skc.kyoto-phu.ac.jp/

認定単位

G24 1単位/コンテンツ ※全50コンテンツ配信予定 過去にeラーニング講座または卒後教育講座を受講し単位取得済みのコンテンツは、認定単位を配付しません(視聴のみ可)。

生涯教育センター

	2022新規 配信コンテンツ ※新規コンテンツは収録後、配信追加していきます。									
1		皮膚の痒みの臨床	14		【特別講演】漢方の改革者 細野史郎先生を語る					
2	2	痒みの発生メカニズムと薬物治療	15		【基礎】セルフメディケーション領域の漢方―便秘―					
3	0 2	認知症患者の診療と地域生活の支援	16		【薬物】薬局・薬剤師の為の分かり易い漢方 『山本巌流一貫堂漢方医学』(1)感冒:風邪とは?(2))頭痛・目眩					
4	_ 2 年	出生前検査とダウン症候群	17		【臨床】心療内科領域での漢方治療一柴胡剤を中心に一					
5	度 卒	ダウン症治療法確立を目指したモデルマウスを用いた基礎研究	18	2022年度漢	【基礎】セルフメディケーション領域の漢方—下痢—					
6	後 教	地域連携における薬剤師の役割	19		【薬物】「漢方薬・生薬に関する最近の話題」(仮)					
7	育講	亜鉛欠乏と腸疾患	20		【臨床】効かせる漢方(女性のQOLを高めるために)					
8	座	亜鉛の働きと亜鉛欠乏による諸相	21		【基礎】セルフメディケーション領域の漢方―むくみ―					
9		知っておきたい!高齢者の口腔と「食べる力」の変化~薬剤師としてのアプローチ~	22	方講	【薬物】知っておきたい漢方配合生薬(その2)					
10	京	[臨床]腎臓内科領域における漢方の役割	23	座	【臨床】漢方の病理学 気血水の考え方2022					
11	都漢方	【特別講演】難治性水滞関連疾患に対する山本巖医学の応用 〜明日から役立つ利水剤の先進医学的な使い方について	24		【基礎】セルフメディケーション領域の漢方―冷え―					
12	研究	【特別講演】日本漢方の独自性	25		【薬物】生薬の選品と鑑別(3)					
13	会	[臨床]漢方薬局での店頭経験~生津薬を用いた症例を中心に~	26		【臨床】漢方薬でサポートするこれからの循環器診療					

	既年度分 配信コンテンツ									
27		慢性腎臓病の考え方と腎機能低下時の薬物投与について	39		[基礎]頭痛の漢方治療					
28	2	CKD患者における薬物動態の変動	40		【薬物】知っておきたい漢方配合生薬(その1)					
29	0 2	小児薬物療法の現状と問題点~小児薬物療法において薬剤師は何をすべきか~	41		[臨床]漢方薬局での店頭経験〜炎症性疾患〜					
30	年	アレルギー性疾患について~特に、アレルギー性結膜疾患について~	42	. 2	[基礎]四肢の痛みの漢方治療					
31	度卒	即時型アレルギーのメカニズム	43	0 2	【薬物】生薬の選品と鑑別(2)					
32	叙	検査値を用いた個別化医療の実現	44	1 年	[臨床]眼科領域における漢方治療					
33	D(**)	地域包括ケアシステムにおける薬局の役割	45	度漢	[基礎]風邪の漢方治療					
34	座	薬局・病院での栄養療法の基礎から実践まで〜現場で使える栄養療法〜	46	方講	【薬物】薬局・薬剤師の為の分かり易い漢方 『山本巌流一貫堂漢方医学』(1)~3つの体質~(2)腰から下の痛み					
35		薬局・病院での栄養療法の基礎から実践まで~現場で活かせる基礎知識~	47	座	【臨床】素晴らしきかな漢方!古から学び、そして薬能も考える漢方					
36	n., (11)	実臨床に役立つ漢方口訣~臨床経験知としての古典~	48		[基礎]咳・痰の漢方治療					
37	公開研	ペインクリニシャンによる「痛みの漢方治療」	49		【薬物】漢方製剤を併用する考え方:アトピー性皮膚炎治療を例にして					
38	神空	COVID-19感染症における漢方医学の役割	50		【臨床】漢方の森の中で迷わないために・・・これだけは押さえておきたい疾患の漢方 治療					

※配信コンテンツは変更される場合があります。

社会を動かす薬学へ。



FAX: 075-595-4792(24時間受付) E-mail: s-center@mb.kyoto-phu.ac.jp



2022 e ラーニング 申込ページ

〒607-8414 京都府京都市山科区御陵中内町5